

「校内研修プログラム」の活用事例 ～保護者に協力を得るための校内研修～

【活用するシート】 Ⅱ－２ 個別の教育支援計画の作成

研修時間

20分間

主な内容

- 個別の教育支援計画の作成に向けた教育相談の実際を体験し、子どもの成長に向けて保護者と共に考える教師の姿勢について理解を深める研修

手 順

準 備		・「Ⅱ－２ 個別の教育支援計画の作成」のシート
タイム テー ブル	1分	1 研修のねらいの確認 ・個別の教育支援計画作成に向けた教育相談の進め方について考える。
	2分	2 研修方法の説明 ○ ロールプレイの進め方について ・場面設定を確認する。 ・学級担任役、コーディネーター役、保護者役、観察役に役割を分担してロールプレイを行う。
	5分 9分	3 シートを活用した演習 ① ロールプレイ ② グループ協議 ・3～4人のグループで協議する。 ・「教育相談を進める観点」から1～2つを選び、その観点に沿って「よかった点」と「今後改善が必要な点」について協議を行う。
	3分	4 まとめ・振り返り
事後の取組		○ グループで話し合った「よかった点」と「今後改善が必要な点」をまとめ、配付する。

ここがポイント！
保護者の思いを受け止めるための教員の姿勢について考えることを視点に協議することが重要です。

研修シート(試案)

Ⅱ－２ 個別の教育支援計画の作成

- ◎ ねらい
個別の教育支援計画について保護者の理解や同意を得るための説明や相談の仕方を考える。

1 保護者に個別の教育支援計画作成の同意を得るロールプレイ

(学級担任役、コーディネーター役、保護者役、観察役に役割を分担して実施します)

- ※ 場面を設定してロールプレイを行ってください。
 ※ ポイント～子どもの成長に向けて、保護者と共に考える姿勢を大切にしてください。
- 【場面設定の例】**
 ・授業中、気が散りやすい子どもについて、当該の子どもの保護者と2回目の話し合いの場面
 ・1回目の話し合いで保護者は「特別なことはしてほしくない」と話していた。
 ・そこで、次のような観点で教育相談を進め、最終的に個別の教育支援計画を作成することについて、同意を得ようとする場面
- 【教育相談を進める観点】**
 ○ 保護者の思いを聞く

 ○ 保護者に支援の内容や方法を提案する

 ○ お子さんができるようになってきていること、うまくいっていないことを確かめ合う

 ○ 次の支援を一緒に考える

 ○ これらのことを記録しておくことのよさを話し合う

2 振り返り(場面を演示して気付いたこと)

- 保護者の思いを知ることは大変難しいと改めて実感しました。
 ○ お子さんのできるようになってきていること十分に伝えることが大切だと感じました。